



第3次嘉麻市観光振興基本計画 令和4(2022)年4月

発行／嘉麻市産業振興課観光PR係

〒820-0292 福岡県嘉麻市岩崎1180番地1

TEL 0948-42-7452 FAX 0948-42-7096

E-mail pr@city.kama.lg.jp

第3次 嘉麻市観光振興基本計画 概要版

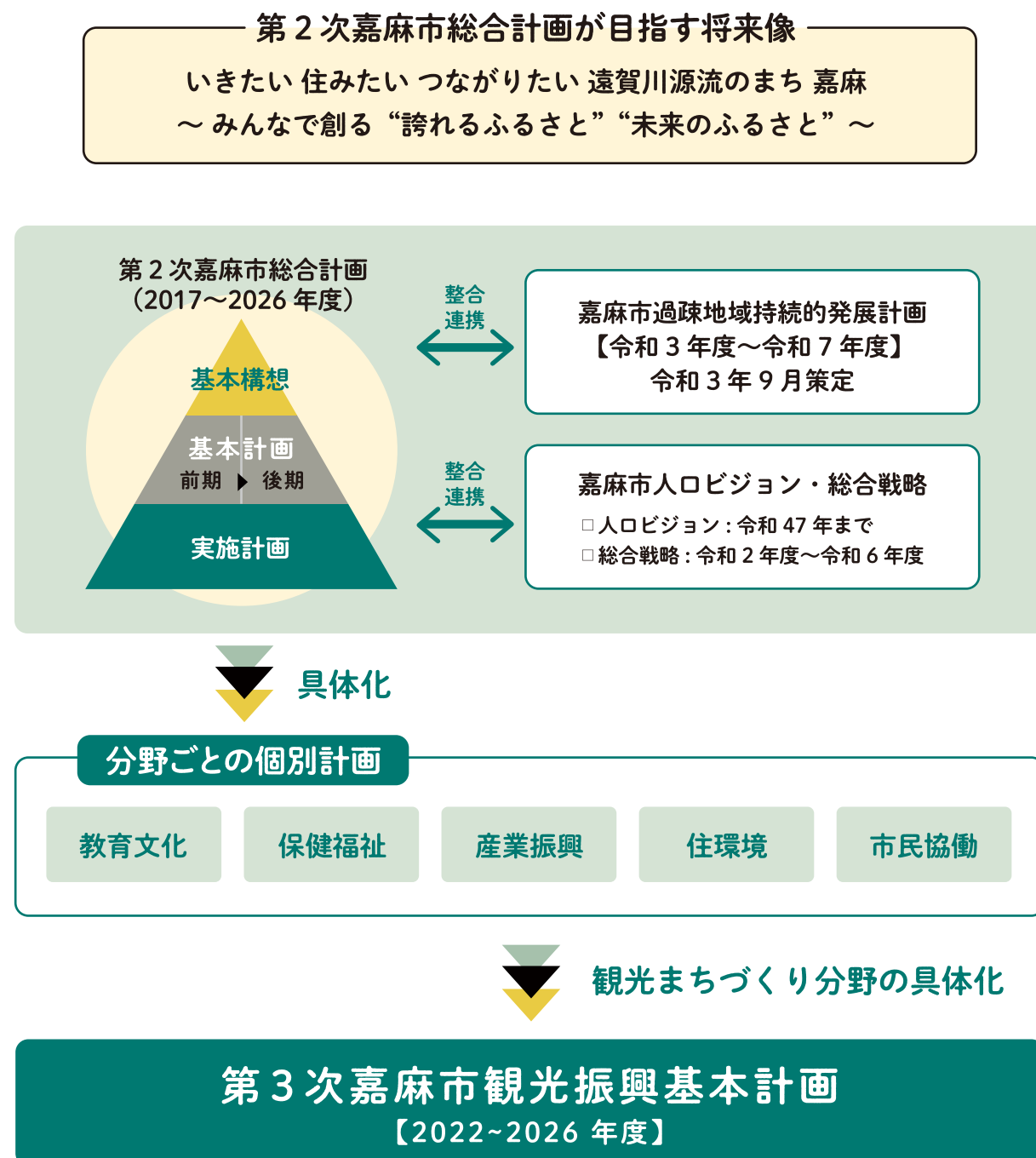


1 計画の位置づけと背景

第3次嘉麻市観光振興基本計画は、第2次嘉麻市総合計画を上位計画として策定しました。第2次嘉麻市総合計画は2017(平成29)年度から2026(令和8)年度までの10年間の計画期間としており、本計画の計画期間である2022(令和4)年度から2026(令和8)年度までの5年間は後期の計画期間にあたります。

第2次嘉麻市総合計画と連携する諸計画、本計画の関連を下図に示します。

■ 計画の位置づけ



2 これまでの取り組み

1 第2次観光振興基本計画の中間年の検証と総括

検証

- ① 取り組みの着手は基本方針によって偏りがある。
- ② 個別の取り組みの成果と全体の成果指標のつながりが不明確である。
- ③ 行動計画における取り組みの主体・手法が明確でない。

総括

基本計画全体の成果指標は、現状(※1)が目標値(※2)と比較して順調な推移とは言えず、観光客数及び消費額の底上げにつながっていない。しかしながら、重点化した事業については目標の成果指標に向かって着実な成果が出ていることと、行動計画に示す多くの取り組みに着手ができていることなど、部分的に評価できるところもある。

評価を踏まえ、成果目標の達成に向けて、「課題」と「今後の取り組み」を次のとおり整理する。

(※1)現状値は、H30年の値 (※2)目標値は、R3年の値としてH27年の値(基準値)の1.5倍を設定整理する。

課題の整理

- ① 基本計画全体の成果指標の妥当性
- ② 取り組みの分散化
- ③ 推進体制の強化
- ④ 新型コロナウイルスによる影響

今後の取り組み

- ① 新たな成果指標の設定
(取り組みの見える化)
- ② 取り組みの選択・集中
- ③ ブランド戦略
- ④ 推進体制の見直し
- ⑤ 新型コロナウイルスによる影響への対応

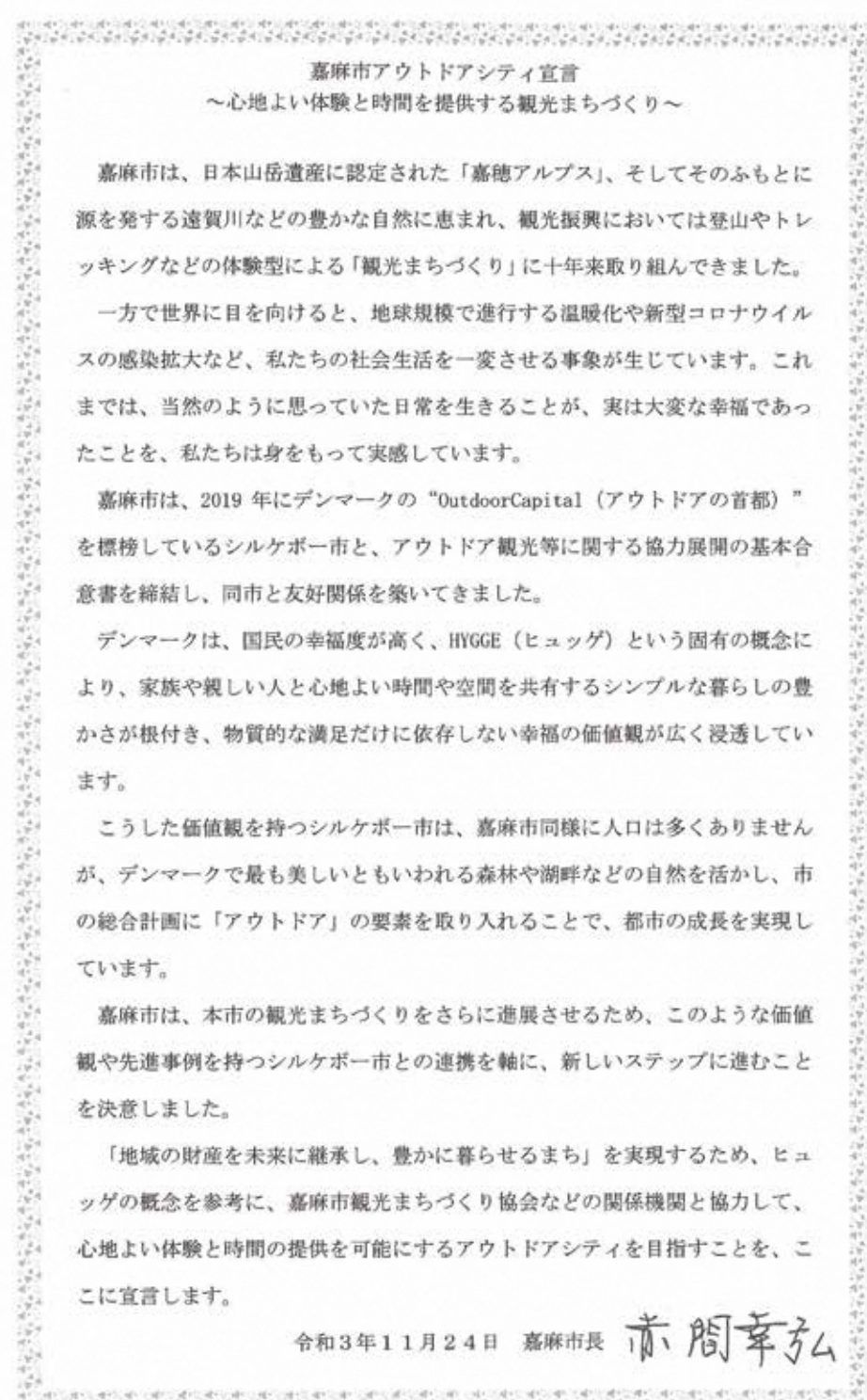
2 嘉麻市の観光振興に向けた提言

- 提言 1 アウトドア活動を足掛かりとした観光まちづくりの積極的推進
- 提言 2 アウトドア客の受入環境整備の推進
- 提言 3 アウトドア推進体制の構築
- 提言 4 シルケボー市との関係性の有効活用

3 アウトドアシティ宣言

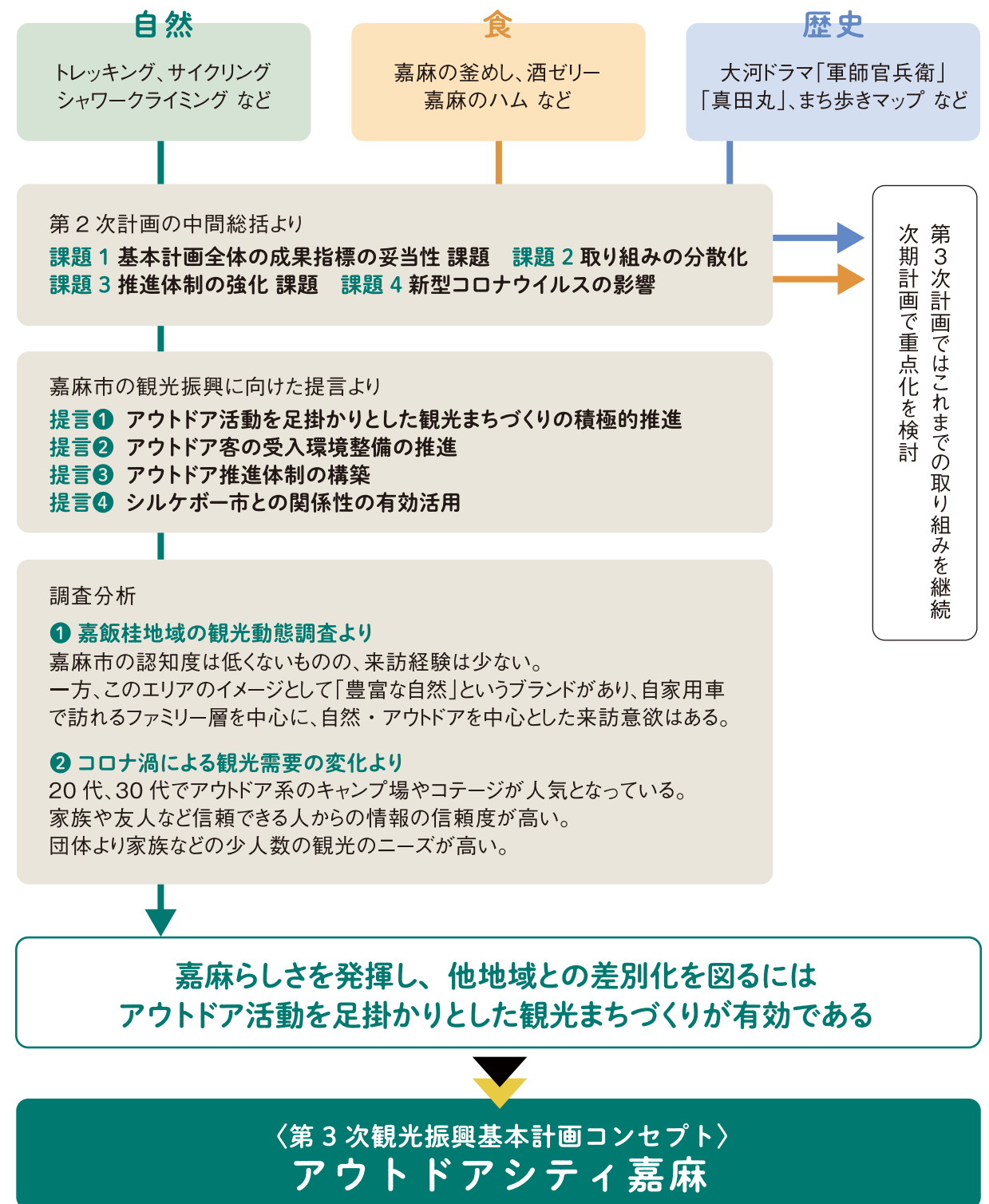
2021(令和 3)年 11 月 24 日、市として、「アウトドアシティ宣言」を行いました。宣言文は嘉麻市長名で、本市がアウトドア活動を基盤とする観光交流地域の創造を目指していくことを表明しています。

宣言文及び概要を以下に記します。



3 本計画のコンセプト

これまで市の観光施策方針として、「自然」「食」「歴史」を 3 つの柱として推進してきました。この 3 つの柱のうち、第 2 次嘉麻市観光振興基本計画の総括、および次期計画に向けた提言と各種調査結果を踏まえ、第 3 次計画の中心施策を「自然」に重きをおきます。計画の策定方針を「アウトドア活動を足掛かりとした観光まちづくり」とし、コンセプトワードを「アウトドアシティ嘉麻」と定めます。「食」と「歴史」については、これまでの取り組みを継続し、次期計画での重点化を検討します。



4 提供価値

コンセプト「アウトドアシティ嘉麻」の核となり、本計画の取り組みによって市民や嘉麻市への来訪者へ提供する価値は、以下のように定めます。

～ 住む人、訪れる人へ、心地いい時間と空間の継続的な提供 ～

提供価値の実現にあたり、我々が意識すべき2つの点について整理します。

① デンマークのライフスタイル「HYGGE(ヒュッゲ)」

2019 年より始まった、デンマーク王国シルケボー市との交流によって、デンマークのライフスタイルである「HYGGE(ヒュッゲ)」に接する機会を得ました。「HYGGE(ヒュッゲ)」とは、心地いい時間を家族や親しい人と過ごす豊かさを指しているといわれますが、日本語には直接訳せる言葉がないとされています。

しかし、心地いい時間と空間を共有するという理念は、嘉麻市が進めてきたアウトドア活動に通じるものです。今後もシルケボー市との交流を深め、アウトドア先進地でもあるデンマークのアウトドアスタイルに学びながら、嘉麻流アウトドアを磨きあげていきます。

② SDGs への取り組み

SDGs:Sustainable Development Goals とは、2015 年 9 月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

(外務省ホームページより転載)



この価値提供によって、

① 嘉麻ファンの獲得

② 市民のシビックプライド醸成（地元への愛着、誇り、まちづくりへの機運）

を目指し、SDGs の目標達成にも貢献します。

※シビックプライド
市民が、自分の住んでいる地域に対して「誇り」や「愛着」を持ち、自らも地域を形成している1人であるという認識を持つこと。

5 目標数値

	(年度)					
	2021 (令和3) 現状値	2022 (令和4) 目標値	2023 (令和5) 目標値	2024 (令和6) 目標値	2025 (令和7) 目標値	2026 (令和8) 目標値
① 全体観光消費額 (千円)	305,125	316,445	328,185	340,361	352,988	366,150
② 宿泊者数 (人)	3,920	4,253	4,615	5,007	5,433	5,900
③ 観光入込客数 (千人/年)	297	303	309	315	321	330
④ 観光消費額/人 (円)	1,028	1,041	1,055	1,069	1,083	1,110
⑤ 来訪者満足度 (%)	未計測	今後設定	今後設定	今後設定	今後設定	今後設定
⑥ 来訪者リピーター率 (%)	未計測	今後設定	今後設定	今後設定	今後設定	今後設定
⑦ Webサイト訪問者数 (人/月)	73,700	77,400	81,300	85,400	86,700	92,200
⑧ 住民満足度 (%)	未計測	今後設定	今後設定	今後設定	今後設定	今後設定

本計画終了年の全体観光消費額を、現状値より20% 伸ばすことを目標とし、関連する項目の目標数値を設定しています。また、継続的に成長させていくために、年平均成長率を乗じた値を、各年の目標値として設定しています。

また、現時点で計測ができていない項目に関しては、2022(令和4)年度中に調査方法等について協議し、目標設定を行います。

2024(令和6)年度に行う中間総括では、新たに行った調査方法、KPIの設定に関する考え方などを明記します。そのうえで、グラフや図表を活用した報告作成を行い、本市の観光現状を広く理解してもらえるように努めます。

6 施策とアクションプラン

① 体験型・滞在型観光メニューの充実

- ◆現状の観光コンテンツのコンセプトに沿った再検証による来訪者満足度の向上
- ◆キャンプ場など既存施設の改修、新規施設設置と提供メニューの検討
- ◆アウトドアに関する情報の集約、来訪者の受け入れができるセンターの設置

② アウトドアシティ嘉麻のブランディング

- ◆国際交流員との交流によるデンマークのライフスタイル「HYGGE(ヒュッゲ)」の浸透
- ◆シルケボー市に学ぶ成長戦略としてのアウトドア
- ◆アウトドアシティ嘉麻の浸透を図るイベント創出

③ 組織体制の強化

- ◆DMO 法人として必要な機能（マネジメント、マーケティング）の強化
- ◆財源の検討による職員増員とアウトドアシティ嘉麻の推進力強化
- ◆ワーキングチーム設置によるシビックプライド醸成と協力体制の構築

④ マーケティングの強化

- ◆観光ポータルサイトのリニューアル・機能強化、デジタルマーケティングの強化
- ◆KPI の検証やマーケティングデータの収集方法の検証
- ◆蓄積したマーケティングデータの公開・共有、市民や事業者への PDCA サイクルの定着

①-1 アウトドアコンテンツ、既存コンテンツの充実

「住む人、訪れる人へ、心地いい時間と空間を提供する」ために、PDCA サイクルによって磨き上げを行います。コンテンツ提供者、観光まちづくり協会のほか関連する市民、事業者等によるワーキングチームを設置し、PDCA を回します。

①-2 宿泊施設の機能強化

本市の弱みである宿泊に関して、K-WALL、トレッキング、シャワークライミング等、コンテンツとの連携によって市内での宿泊需要を創出します。

①-3 魅力ある食の提供

地域の魅力に欠かせないコンテンツとなる食の提供に関して、「嘉麻に行くなら、これを食べたい」とイメージできるメニューを工夫し、来訪者の満足度向上と消費額の向上を目指します。

①-4 観光拠点の整備

アウトドアシティ嘉麻の実現に向け、老朽化が見られるキャンプ場のリニューアルや、山田地区などへの新規アウトドア施設の整備を検討し、市全域にアウトドア活動を広げていきます。

②-1 国際交流員による理念共有

デンマークから採用された国際交流員の目から見た嘉麻市の暮らしや文化の印象を、市民と共有する機会を持ちます。

②-2 シルケボー市との交流活動

アウトドア観光に関する基本合意書に基づき、シルケボー市との定期的な情報交換など交流活動を継続します。

②-3 アウトドアブランドとの連携

アウトドアシティ嘉麻のブランディングを進めるため、アウトドアブランドとの連携を図ります。

②-4 アウトドアシティシンボルイベントの開催

年に1回、1か月間程度のアウトドアシティ月間を設けます。この期間にキャンプやトレッキング、シャワークライミングなどアウトドアコンテンツの体験機会を提供し、市民がアウトドアを楽しめる場を創出します。

③-1 嘉麻市観光まちづくり協会の強化

嘉麻市観光まちづくり協会は日本版 DMO 法人登録を目指し、地域の観光をリードする役割を担っています。その機能を備え、アウトドアシティ嘉麻を実現するため、専任スタッフを増員します。

③-2 計画を遂行するワーキングチームの設置

本計画の策定ワークショップの中で、「企画段階から情報共有してほしい」という声があり、アクションプランを具体的に遂行するため、観光まちづくり協会のコーディネートによるワーキングチームを設置します。

④-1 デジタルマーケティングの強化

現在における観光振興において必要不可欠なデジタルマーケティング機能を強化します。

④-2 マーケティングを支える仕組みづくり

強化されたデジタルマーケティングにより蓄積される各種データを、効果的にかつ継続的に分析し、活用する仕組みを構築します。

④-3 マーケティングデータの積極的共有

マーケティングデータの分析結果や本計画の変更・修正点などを市民や市内事業者等に共有します。

